



Book Review

インプラント治療は チームアプローチ 検査・診断・手術・コンサルテーション

水上哲也 監修/池上龍朗・下田裕子 著

約20年前、開業準備をされていた一人の先生が当院を数回見学に来られた。その時の見学姿勢や歯科医療に対する考え方は、その先生が将来素晴らしい臨床家になることを強く予感させた。その先生こそ、本書の監修者である水上哲也先生であり、予感は現実のものとなった。

当院に見学にこられた後、先生は立地条件がさほど良くないと思われる地域で開業された。しかし、地道で誠実な性格通り、基本的な歯科臨床を着実にこなすことでだいに評価を高め、現在では、地元はもとより、遠方からも患者さんが数多く来院されている。約2年前には、病院が手狭になったため、チームアプローチを考慮して設計されたと思われる立派な診療所を新築された。最初にお会いして以来、一貫して変わらぬ努力と真摯な治療姿勢には医療人として学ばざれることが多々ある。

水上先生は開業当初の苦しい時代から、国内はもとより海外の研修、学会に積極的に参加され、そこで得た知識・技術をすぐに臨床に導入され、確実に実力をつけてこられた。特に、歯周治療、再生療法、インプラント治療などはUCLAのDr. Henry Takei, Dr. Thomas Han, ミシガン大学のDr. Hom-Lay Wangなどに10数年師事され、飽くなき探究心をもって、今でも勉強を続けられている。

ここ数年来、国内はもとより、海外の学会での講演依頼が多数

あり、確実に「世界の水上」という地位を築きつつある。8年前には、久留米大学医学部第2解剖学教室にて医学博士号を取得され、基礎に則った臨床を心がけられている。また、福岡を中心としたStudy Group 歯水会では、若手歯科医師の育成にも力を注がれている。

今回出版された『インプラント治療はチームアプローチ』は、勤務医の池上龍朗先生、歯科衛生士の下田裕子氏を中心とした水上歯科医院のスタッフ全員による傑作書である。本書の内容は、これまで水上歯科医院に勤務されてきたスタッフ全員で築いてきたものであり、インプラント治療に対する思い入れやこだわりがすべてのページから強く伝わってくる。昨年より先生が開始された歯周外科実践3カ月コースも、医院のチームワークの良さが遺憾なく発揮され、毎回盛況で好評を博している。

本書は第1章から第4章までの構成になっているが、特に、「第1章 インプラント治療についての基礎知識」は各種インプラントが存在している現在、その垣根をこえて親切丁寧に解説されており、今からインプラント治療を始められる先生にとっては必読の章であると思う。

現在、歯科医療の現場は、患者ニーズの多様化などで刻々と変化・進歩し続けている。それに対応するためには、歯科医療のすべての面で、歯科医師だけでなくスタッフ全員のレベルアッ



A4判変, 176頁
定価 12,600円
(本体 12,000円+税5%)
医歯薬出版刊

プが必要であり、特に年々手技が複雑、多様化するインプラント治療では不可欠である。コンサルテーション、診査、診断、手術、上部構造、メンテナンス、すべての過程においてメンバーのチームワークこそが良好な治療結果生み出す秘訣である。

本書は、今後インプラント治療を導入される先生はもちろん、すでに導入済みの各医院においても、その心構えを再確認し、チームアプローチ、院内システムを充実させるための院内勉強会の参考書として最適である。

インプラント治療は先人達の弛まぬ努力により確実な手技に近づき、エビデンスも少しずつではあるが確立されてきている。本書はその歩みを確かなものとする一冊であり、多くのインプラント臨床家に多大なる恩恵を与える必読の一冊であると確信している。

糸瀬正通

(福岡市・歯科糸瀬正通医院)